

報道資料

令和8年9月29日

報道機関各位

担当課	観光商工部 観光物産課
担当者	主事 黒田 大志
電 話	0957-47-7834
F A X	0957-38-3205

「令和7年（2025年）雲仙市観光統計」について

【推計方法の変更】

観光客の来訪実態をより反映した推計を行うため、令和7年より、人流データサービスを活用し、観光客数の推計方法を変更しました。

また、令和7年との前年比較を行うため、令和6年についても再算定しています。

【総括】

令和7年（1月～12月）の観光消費額は、238億4,681万円（14億4,838万円増）で前年比6.5%増となりました。

また、雲仙市を訪れた観光客延べ数は、188万5,043人（5万8,062人増）で前年比3.2%増となりました。

なお、前年比較については、観光消費額及び観光客延べ数ともに、新方式により再算定した令和6年の数値を使用しています。

内訳は以下のとおりです。

【観光消費額】

日帰り客 約 99億5,434万円（10億8,381万円増）前年比12.2%増
宿泊客 約138億9,247万円（3億6,458万円増）前年比2.7%増

【観光客延べ数】

日帰り客数 114万5,230人（7万8,676人増）前年比7.4%増
宿泊客延べ滞在数 73万9,813人（2万614人減）前年比2.7%減

【各種分析】

○観光消費額 238億4,681万円（14億4,838万円増）

観光客が消費した観光消費額は、238億4,681万円（14億4,838万円増）で前年比6.5%増となりました。

日帰り客数の増加に加え、日帰り客、宿泊客ともに1人当たりの観光消費額単価が上昇したことが、観光消費額増加の主な要因となりました。

特に宿泊客については、交通費や飲食・娯楽費が上昇しており、関東・近畿など遠方からの来訪者の増加に加え、土産品などの「モノ消費」だけでなく、飲食や体験などの「コト消費」への支出が高まっていることも、消費単価上昇の背景にあるものと考えられます。

内訳は以下の通りです。

日帰り客 約 99億5,434万円（前年比12.2%増）

宿泊客 約138億9,247万円（前年比 2.7%増）

※日帰り客単価 8,692円（前年比4.5%増）

宿泊客単価 39,018円（前年比5.9%増）

○日帰り客数 114万5,230人（7万8,676人増）

日帰り客数は、114万5,230人（7万8,676人増）で前年比7.4%増となりました。

月別では前年を下回る月もみられたものの、秋の観光シーズンを中心に日帰り客が前年を上回る月が複数みられました。特に紅葉期には、長崎県内をはじめ福岡県、熊本県、佐賀県など九州近隣地域からの来訪が増加しており、こうした観光シーズンにおける日帰り需要の高まりが、年間の日帰り客数増加の一因になったものと考えられます。

○宿泊客延べ滞在数 73万9,813人（2万614人減）

宿泊客延べ滞在数は、73万9,813人（2万614人減）で前年比2.7%減となりました。

市内宿泊施設の建て替えや改修等に伴う休館により、市内全体の客室数が減少したことが、宿泊客数減少の一因になったものと考えられます。

○修学旅行宿泊客 6,705人（838人増）

修学旅行宿泊客数は、6,705人（838人増）で前年比14.3%増となりました。受入学校数についても、前年の73校から82校へ9校増加しました。

地域別でみると、九州・沖縄が34校（5校減）前年比12.8%減で、関西21校

（８校増）前年比６１．５％増、関東１４校（１校減）前年比６．３％減、その他の地域１３校（７校増）前年比１１６．７％増となりました。

○外国人宿泊客延べ滞在数 ４６，５３８人（４，１８２人減）

外国人宿泊客延べ滞在数は、４６，５３８人（４，１８２人減）で前年比８．２％減となりました。

国・地域別では、韓国は前年並みとなったものの、香港など一部のアジア市場が前年を下回りました。特に香港については、全国的にも訪日客数が前年を下回っており、旅行需要の減少や日本行き航空便の減便などが影響したものと考えられます。

一方、ヨーロッパは前年比２５．７％増、北アメリカは４１．３％増となりました。全国的にも欧米市場からの訪日客数は増加しており、堅調な訪日需要や航空便の増加などが、雲仙市における欧米市場からの宿泊客増加の背景にあるものと考えられます。

【推計方法の詳細】

<旧方式と新方式の比較>

	旧方式	新方式
観光客延べ数	観光地点等への調査により把握した観光入込客数等を基に推計	人流データを基に推計
日帰り客数	観光客実数から宿泊客実数を差し引いて算出	人流データによる観光客延べ数から宿泊客延べ滞在数を差し引いて算出
宿泊客実数・宿泊客延べ数	宿泊施設等への調査を基に算出	従来と同様に宿泊施設等への調査を基に算出

<令和６年観光客数及び観光消費額の再算定>

推計方法の変更に伴い、令和６年の観光客数及び観光消費額について、新方式により再算定しました。

【観光客延べ数】

旧方式による公表値	2, 240, 103人
	↓
新方式による再算定値	1, 826, 981人
差	△413, 122人

【日帰り客数】

旧方式による算定値	1, 479, 676人
	↓
新方式による再算定値	1, 066, 554人
差	△413, 122人

【観光消費額】

旧方式による公表値	258億1, 352万円
	↓
新方式による再算定値	223億9, 843万円
差	△33億1, 509万円

※上記の差は、令和6年の観光客数及び観光消費額が実際に減少したことを示すものではなく、観光客数の把握に用いる基礎データや推計方法の変更に伴い生じたものです。

※宿泊客数については、従来と同様に宿泊施設等への調査を基に算出しており、推計方法の変更はありません。

※令和7年の前年比較については、同一の推計方法による比較とするため、新方式で再算定した令和6年の数値を使用しています。

〈人流データサービスについて〉

スマートフォンのGPS位置情報に基づく、観光客分析に特化した人流データ・モニタリングツール。140種類以上のスマートフォンアプリを通じて、利用者から明示的な同意を得て取得したGPS位置情報・属性情報（性・年代別など）を活用し、観光客の来訪状況等を把握するものです。

○月別宿泊客数 2年比較（令和6年～令和7年）

	令和6年			令和7年					
	延べ宿泊客数	宿泊客実数	宿泊延べ滞在数（延べ宿泊客＋宿泊客実数）	延べ宿泊客数	前年比	宿泊客実数	前年比	宿泊延べ滞在数（延べ宿泊客＋宿泊客実数）	前年比
1月	27,746人	26,057人	53,803人	27,490人	99.1%	25,993人	99.8%	53,483人	99.4%
2月	28,307人	26,972人	55,279人	26,632人	94.1%	24,780人	91.9%	51,412人	93.0%
3月	38,414人	36,456人	74,870人	38,457人	100.1%	35,931人	98.6%	74,388人	99.4%
4月	29,793人	28,123人	57,916人	28,808人	96.7%	27,177人	96.6%	55,985人	96.7%
5月	36,898人	34,229人	71,127人	36,271人	98.3%	33,569人	98.1%	69,840人	98.2%
6月	23,937人	22,749人	46,686人	22,866人	95.5%	21,515人	94.6%	44,381人	95.1%
7月	25,692人	23,780人	49,472人	26,956人	104.9%	23,720人	99.7%	50,676人	102.4%
8月	42,045人	36,698人	78,743人	37,408人	89.0%	33,584人	91.5%	70,992人	90.2%
9月	28,724人	26,741人	55,465人	26,324人	91.6%	24,474人	91.5%	50,798人	91.6%
10月	36,495人	34,146人	70,641人	37,213人	102.0%	34,676人	101.6%	71,889人	101.8%
11月	41,000人	38,874人	79,874人	40,958人	99.9%	38,490人	99.0%	79,448人	99.5%
12月	33,208人	31,281人	64,489人	34,377人	103.5%	32,144人	102.8%	66,521人	103.2%
計	392,259人	366,106人	758,365人	383,760人	97.8%	356,053人	97.3%	739,813人	97.6%

○直近の動向（令和元年～令和7年：1月～12月）

<観光客数>

雲仙市観光客数（令和元年～令和7年）							
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年（再算定）	令和7年
観光客延べ数（A）	2,752,536	1,832,123人	1,596,321人	1,971,385人	2,315,148人	1,826,981人	1,885,043人
日帰り客数（B）	1,815,320人	1,221,064人	1,126,414人	1,368,916人	1,541,256人	1,066,554人	1,145,230人
宿泊客延べ滞在数（C）	937,216人	611,059人	469,907人	602,469人	773,892人	760,427人	739,813人
延べ宿泊客数	499,701人	328,634人	246,814人	321,657人	401,668人	393,290人	383,760人
宿泊客実数	437,515人	282,425人	223,093人	280,812人	372,224人	367,137人	356,053人
A対前年比（%）	96.9%	66.5%	87.1%	123.5%	117.4%	-	103.2%
B対前年比（%）	94.1%	67.2%	92.2%	121.5%	112.6%	-	107.4%
C対前年比（%）	102.8%	65.1%	76.9%	128.2%	128.5%	98.3%	97.3%

※令和6年以前の数値につきましては、推計方法（算出方法）が異なるため、単純比較を行う際にはご注意ください。

<修学旅行者>

	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	延宿泊数	学校数	延宿泊数	学校数	延宿泊数	学校数	延宿泊数	学校数	延宿泊数	学校数	延宿泊数	学校数	延宿泊数	学校数
雲仙地区	11,438人	103校	5,707人	72校	6,659人	66校	6,950人	81校	6,555人	71校	5,390人	60校	6,051人	68校
小浜地区	1,741人	41校	553人	11校	638人	15校	1,842人	46校	1,038人	27校	477人	13校	654人	14校
合計	13,179人	144校	6,260人	83校	7,297人	81校	8,792人	127校	7,593人	98校	5,867人	73校	6,705人	82校
対前年比（%）	87.2%	90.6%	47.5%	57.6%	116.6%	97.6%	120.5%	156.8%	86.4%	77.2%	77.3%	74.5%	114.3%	112.3%

<外国人宿泊客>

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
地域	宿泊客延べ滞在数（人）						
国・地域							
アジア	49,755人	5,260人	201人	2,532人	19,659人	43,153人	36,473人
中国	7,586人	1,205人	50人	269人	1,843人	4,711人	4,661人
台湾	4,876人	766人	19人	183人	2,819人	8,239人	5,786人
香港	10,126人	1,624人	0人	710人	6,663人	7,904人	4,261人
韓国	20,988人	967人	10人	959人	6,226人	18,681人	18,617人
シンガポール	1,377人	105人	38人	198人	1,343人	2,463人	1,776人
タイ	1,717人	18人	0人	99人	557人	527人	382人
ベトナム	28人	4人	24人	56人	18人	21人	55人
フィリピン	46人	0人	26人	7人	8人	30人	48人
マレーシア	522人	80人	0人	20人	55人	231人	498人
インドネシア	135人	0人	10人	6人	8人	43人	44人
その他	2,354人	491人	24人	25人	119人	303人	345人
ヨーロッパ	3,639人	254人	89人	158人	2,387人	4,276人	5,307人
イギリス	637人	142人	26人	25人	326人	434人	634人
フランス	1,051人	21人	5人	45人	336人	1,224人	1,336人
ドイツ	930人	18人	4人	59人	373人	594人	745人
その他	1,021人	73人	54人	29人	1,352人	2,024人	2,592人
北アメリカ	1,465人	235人	90人	165人	1,180人	1,864人	2,587人
アメリカ	1,065人	216人	90人	115人	894人	1,564人	2,017人
カナダ	398人	19人	0人	50人	280人	300人	564人
その他	2人	0人	0人	0人	6人	0人	6人
南アメリカ	201人	0人	0人	0人	17人	27人	45人
オセアニア	504人	31人	18人	63人	532人	910人	789人
オーストラリア	485人	21人	18人	53人	491人	852人	719人
その他	19人	10人	0人	10人	41人	58人	70人
その他の国・地域	431人	97人	16人	4人	311人	269人	1,254人
国籍不明など	1,188人	176人	16人	62人	22,688人	221人	83人
合 計	57,183人	6,053人	430人	2,984人	46,774人	50,720人	46,538人
対前年比（％）	82.2%	10.6%	7.1%	694.0%	1567.5%	108.4%	91.8%
対前年増加率（％）	-17.8%	-89.4%	-92.9%	594.0%	1467.5%	8.4%	-8.2%

市長コメント

令和7年の雲仙市観光統計をみますと、観光客延べ数は、新たな推計方法により再算定した令和6年と比較して3.2%の増加となりました。特に、日帰り客数が前年比7.4%増となり、多くの皆様に本市を訪れていただいたことを大変うれしく思っております。

また、観光消費額につきましては、日帰り客数の増加に加え、日帰り客、宿泊客ともに1人当たりの観光消費額単価が上昇したことなどにより、前年比6.5%増の238億4,681万円となりました。観光客数の増加だけでなく、市内での飲食や体験などを通じた観光消費につながっているものと捉えております。

一方、宿泊客延べ滞在数につきましては、市内宿泊施設の建て替えや改修等に伴う休館により、市内全体の客室数が減少したことなどから、前年比2.7%の減少となりました。

外国人宿泊客延べ滞在数につきましても、前年比8.2%の減少となりました。香港など一部のアジア市場が前年を下回った一方で、ヨーロッパや北アメリカからの宿泊客は増加しており、今後も市場ごとの動向を捉えながら、国内外からの誘客に取り組んでいく必要があると考えております。

市といたしましては、引き続き雲仙観光局や観光関係事業者の皆様と連携し、本市が有する温泉、自然、食などの豊かな観光資源を活かしながら、観光コンテンツの充実や効果的な情報発信、受入環境の整備に取り組んでまいります。

令和8年9月29日

雲仙市長 金澤秀三郎